

共生・公正・創造



# 東日本タイムズ号外

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~JRTU-HWU/>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## 【シリーズ18】

### 松崎・本部派と嶋田たち派の東労組内部確執問題

およそ平成14年の春ごろから表面化し、途中に「浦和電車区事件」を挟んで平成17年の今日時点まで続き、未だ収まる気配のない松崎・本部派と嶋田グループ支持派（以下、「嶋田たち派」と略）の東労組内部確執問題は、「東京問題」と「嶋田氏ら本部中執8名辞任問題」とに分けられる。この両問題の経緯・概要については拙著『続 もう一つの未完の「国鉄改革」』（高木書房刊）で相当な紙数を割いて説明した。その後の主要な事柄を幾つか抽出するとおよそ次のようである。

### 『月刊 治安フォーラム』掲載の関連記事

公安警察関係情報の豊富さと分析の正確さでは定評のある『月刊 治安フォーラム』03年9月号に松嶋福太郎名の『「新潟問題」で揺れるJR東労組』と題した論考が掲載された。同論考は、目下進行中の松崎・本部派対嶋田たち派の確執の要点を次のように簡潔にまとめている。問題の総体的な流れを把握しておくためには有益な資料と判断されるので、先ず、それを紹介させて戴く。

《昨年来、JR関係者の中から東日本旅客鉄道労働組合（以下「東労組」という。）をめぐって何やらキナ臭い話を聞く。

東労組といえば、これまでも過激派革マル派との関係が取り沙汰されたり、他の系列の組合員と交際しただけで、集団で暴力的な吊し上げを行うなど、何かと物議を醸し出すことで有名な労組ゆえ、キナ臭い話のネタは尽きないが、それでも、昨年からの東労組内で起こっている諸問題は、誰が見ても異常である。

一例を挙げれば、「東労組の首領」こと松崎明氏が昨年の定期大会で東労組顧問を辞任したにもかかわらず、すぐに、東京、横浜、八王子、大宮各地本（東京支社の四地本）の顧問に就任したこと。

上部団体の顧問を降りて格下の組織の顧問になるなど、労働界では前代未聞……さすがに「妖怪のなせるわざ」と皮肉るのはJR労働運動に詳しいジャーナリスト。

また、JR内で「ポスト松崎」とまでいわれたことのある嶋田邦彦東労組副委員長らの突然の辞任も異常現象の一つ。

60半ばをとくに過ぎた松崎氏の辞任は当然だとしても、まだ、56歳の嶋田氏が委員長ポストを目前にして突然辞任したとなれば、“何かある”と勘ぐるのは、筆者だけではあるまい。

しかも、嶋田氏をはじめ辞任した東労組役員のひとつは、新潟出身者で占められ、東労組内では新潟グループと呼ばれていた面々である。

その後、この問題は、飽くなき権力欲に取りつかれた松崎氏とその取り巻きグループが自己保身のために仕掛けた「新潟」VS「東京」の権力争いであり、嶋田氏らが東労組の分裂を回避するために身を引いたことが、JR内に出回った怪文書で明らかになる。

労働組合の役職を退いたにもかかわらず、組合所有の最高級車をこれまた組合専従の運転手、秘書を付けて乗り回し、自分の息子をJR総連関連会社の社長に据えるなど、JR総連や東労組を私物化する松崎氏に対して労組幹部として異を唱えるのは、ごくごく当たり前であるが、それが松崎氏の逆鱗に触れ、陰湿ないじめの末に組合から追放されたとも聞く。

これが世界に冠たる立派な労働組合と豪語する東労組の真の姿であるが、今回の騒動は、いくら松崎氏が巧みな弁舌をもって説明しても新潟グループの言い分が正しいように思えてならない。もっとも、彼らといえども同じ穴の貉には違いないだが……》

月刊『治安フォーラム』誌の執筆者には公安警察情報の精通者が多いという話を聞いたことがあるが、事実だとすると公安警察サイドも、筆者の見解と同様に、JR総連・東労組内部確執の本質は、「JR革マル右派（嶋田たち派）とJR革マル左派（松崎・本部派）との権力闘争」という捉え方をしているように思われる。

＜JR東日本労政『二十年目の検証』85ページから87ページより抜粋＞

# 民主化の声・声・声・・・

2005.11.11

その18

## 東労組への革マル浸透問題、これだけの理由！

2002.11.1 東労組本部に家宅搜索！

## 革マル派幹部ら、強要容疑で7名逮捕！

2002年11月1日、警視庁公安部は、J R 東日本の運転士にイヤガラセして退職に追い込んだとして、東労組大宮地本副委員長（革マル派幹部）ら同労組組合員計7人を逮捕、東労組本部など30数カ所を家宅搜索した。逮捕されたのは、大宮地本の梁次副委員長や青年部組合員らである。

<マスコミ各社の報道（抜粋）>

警視庁公安部は1日、J R 東労組に所属するJ R 東日本の社員が、組合の指示に従わなかった為無理やり組合や会社を辞めさせたとして、過激派「革マル派」幹部で同労組幹部の梁次邦夫（53）と、同組合員、山田知（29）ら5容疑者を強要容疑で逮捕。東京都渋谷区のJ R 東労組の本部など都内と埼玉県内の30カ所を同容疑で搜索したと発表した。同部によると、梁次容疑者らは同労組に所属していた運転士が、他労組の組合員に加入を呼びかけるハガキを出すのを拒否したことなどから、昨年1月から6月まで度々、運転士を取り囲み「組合を辞める」などと怒鳴りつけ、組合や会社を辞めさせたとされる。[毎日新聞11/1夕刊]

警視庁公安部は1日、J R 東日本の運転士（28）を脅迫して退職に追い込んだとしてJ R 東労組の元大宮地方本部青年部事務長、山田知（29）ら2容疑者を強要の疑いで逮捕、同労組中央本部など約30カ所を家宅搜索した。調べによると、山田容疑者らは、同組合員だった運転士が組合への勧誘活動を怠ったり、対立する組合員と旅行に行ったことを「組織破壊」と決めつけ、昨年1月から6月にかけて集団で取り囲むなどして脅迫。この間の2月末に組合を脱退させ、7月末に会社を退職させた疑い。[日経新聞11/1夕刊]

東労組は、このお家の一大事に大きく揺れている。最大のショックは、身内に革マル派がいたことだ。組合員の中からは「次はあいつが捕まるのでは」と戦々恐々とし、いままで運転系統を中心に職場にたむろしていた東労組青年部の常駐役員が一斉にいなくなった模様。

## 労働運動に過激派（革マル派）はいらない！！

民主化の声・声・声・・・

（続く）